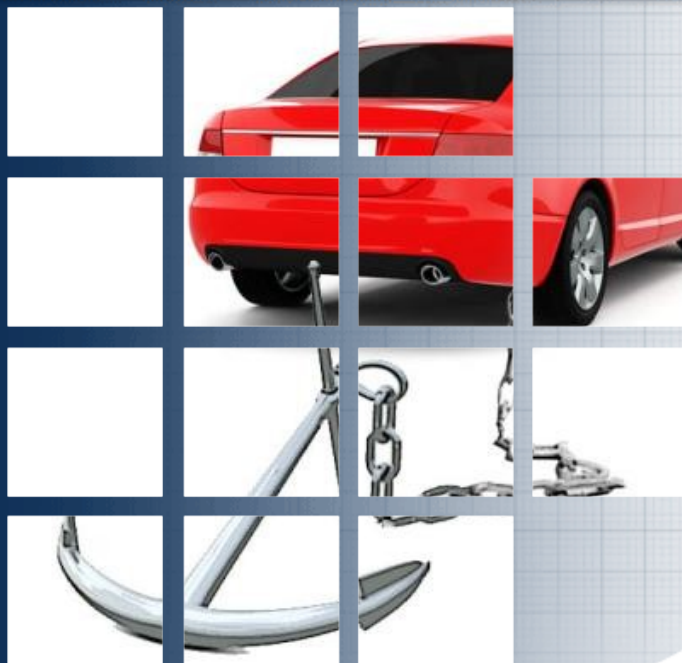


# リモートイモビライザ： 利用に関する懸念と需要動向



## 盗難車両追跡システムとともに需要が高まるリモートイモビライザ...

ここ数年、世界中で乗用車のセキュリティ機能の装着率が全体的に伸びています。電子的イモビライザの装着を義務付けたり、インセンティブとして保険認証基準を設ける国も多くなり、その結果多くの地域で車両盗難は減少傾向にあります。しかし、SBDの最新の調査によると車両窃盗犯の盗難手法は変化しており、オリジナルキーを盗んでの車両盗難が新モデル車に多く見られます。

窃盗犯がキーを用い車を盗んだとしても盗難車両追跡システムの一機能とされるリモートイモビライザは、盗難車回収のチャンスを大きく向上させるとして人気が高まっています。

本書「リモートイモビライザ：利用に関する懸念と需要動向」(レポート番号：SBD/SEC/2261)ではリモートイモビライザの市場牽引要因、OE開発に伴う世界的な技術要件、欧州の保険基準、ブラジルでの法改正、この技術を用いる際の責任問題等について解説しています。



本書では以下のような内容を取り上げています。

- SVTシステムやテレマティクスシステム展開下におけるリモートイモビライザ機能の市場ポジション
- 市場での懸念事項と責任問題について
- リモートイモビライザの起動方法とシステム種類の比較
- リモートイモビライザの保険要件とセキュリティ基準

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

担当：杉木昭郎

e-mail : [asugiki@sbdjapan.co.jp](mailto:asugiki@sbdjapan.co.jp)

tel : 052-253-6202



## 》》 リモートイモビライザ装着率は増加が見込まれる...

リモートイモビライザはアフターセフト対策装置の 1 つで、通常は SVT システムの一機能として搭載されています。また、アフターマーケットのアラームシステムにも同様の機能を搭載しているものもあります。リモートイモビライザの目的は、窃盗犯がオリジナルキーで盗んだ場合でも、車を継続的に使用できないようにすることです。

現在、欧州の 7 カ国が SVT に対する保険認証基準を設けていて、SVT システムにリモートイモビライザ機能が含まれていることを許可または必須要件としています。ブラジルは SVT の装着を義務付ける法律がある唯一の国であり、2011 年 4 月以降は全ての乗用車にリモートイモビライザ機能を搭載した SVT ハードウェアの装着が義務付けられます。



SVT 装着に関する保険契約条件の例

車両盗難リスク	車両価額		
	€30,000 未満	€30,000 以上、 €50,000 未満	€50,000 以上
低	追加の防盜機能は 必要なし	追加の防盜機能は 必要なし	リモートエンジン再スタート 防盜機能を搭載した SVT の装着が必要
中	追加の防盜機能は 必要なし	保険会社によっては、SVT またはその他のアフターマ ーケット防盜システムの装 着が必要	リモートエンジン再スタート 防盜機能を搭載した SVT の装着が必要
高	保険会社によっては、SVT またはその他のアフターマ ーケット防盜システムの装 着が必要	SVT の装着が必要	リモートエンジン再スタート 防盜機能を搭載した SVT の装着が必要

注記：上記の表は、欧州の主要国の大手保険会社の見解をまとめたものであり、実際の保険加入条件は個々の保険会社によって異なる。

全般的に SVT システム市場は伸びていて、先進国では平均装着率が乗用車の 5% に達しています。しかし、リモートイモビライザの装着率は市場容認の度合いや保険基準など各国によって様々です。SBD では、アフターマーケットから OEM への全体的な移行を伴いながらテレマティクスシステムの拡張機能として独自の SVT システムを検討しているメーカーが増加している事からも、今後数年間でリモートイモビライザ機能を持つ SVT システムの数は増加すると見えています。

欧州では 2012 年までに SVT システム全体の半分が OE 装着になり、殆どの OE システムにリモートイモビライザ機能が付くと SBD では見えています。世界的にはブラジルでの法規制による新車への搭載率 100% とテレマティクス機能の一部としての拡大により、リモートイモビライザは確実に増加すると思われます。しかし、搭載率の増加は予測されるものの、リモートイモビライザ機能によって起こり得る事故時の責任問題に対してサービスオペレーター側が使用をためらう可能性や警察官の目視指示が必要などの点から、実際のイモビライザ起動率は伸び悩むことが予測されます。

# »» ...know what tomorrow brings

## 目次

### 1. 要旨

- 1.1 はじめに
- 1.2 主な結論

### 2. 機能の概要

- 2.1 OEM システムの例
  - 2.1.1 GM の OnStar
  - 2.1.2 Lexus の G-Link
  - 2.1.3 Autotxt の SVT

### 3. 市場の状況

- 3.1 市場の牽引役
- 3.2 保険要件と法的要件
- 3.3 現在の市場状況
- 3.4 将来の展望
- 3.5 市場の懸念事項

### 4. セキュリティ性の概要

- 4.1 設計に関する検討事項
- 4.2 システムの統合性

## 図表一覧

- 図 1. リモートイモビライザのタイプ
- 図 2. 英国におけるリモートイモビライザ操作の手順
- 図 3. OEM ソリューション概要
- 図 4. 英国におけるアフターマーケットの SVT およびリモートイモビライザシステムの例
- 図 5. 英国における非 SVT 型のアフターマーケットシステム
- 図 6. SVT 装着に関する保険契約条件の例
- 図 7. リモートイモビライザ基準の適用範囲
- 図 8. 既存の認定基準の技術概要
- 図 9. 既存の認定基準に合格するために必要な技術要件の概要
- 図 10. ブラジルにおける OEM 車両追跡サービスの年間起動率の予測
- 図 11. 欧州 15 カ国向け OEM およびアフターマーケット SVT の販売数推移
- 図 12. リモートイモビライザ機能の統合(エンジン再スタート防止機能)
- 図 13. フル統合のメリットとデメリット(オプション 1)
- 図 14. 統合性の低いシステムのメリットとデメリット(オプション 2)

リモートイモビライザ基準の適用範囲

地域	国	要件策定の担当機関	要件文書の名称	アフターセフトイモビライザは単独システムとして認定可能か?	再スタート防止	リモートエンジン停止	リモートエンジン	リモート減速
欧州	ベルギー	CEB	T-021C 'TT'	不可 - SVT との併用	◆	×	×	×
	イタリア	CEI	79-28	不可 - SVT との併用	✓	◆	◆	◆
	オランダ	SCM	TT03	不可 - SVT との併用	◆	×	×	×
	ノルウェー	FG		不可 - SVT との併用	◆	×	×	×
	ポーランド	PIMOT	Systemy Lokalizacji	不可 - SVT との併用	不明 <sup>1</sup>			
	スペイン	Centro Zaragoza	CG-CP-003-00	不可 - SVT との併用	◆	◆	◆	◆
	英国	Thatcham <sup>2</sup>	TQA	不可	×	×	×	×
			CAT 5	不可 - SVT との併用	✓	×	×	
その他	ブラジル	CESVI	Sistemas de Bloqueio e Rastreamento de Veículos	可 (「Bloqueadores」)	✓	◆	◆	◆
	その他	Thatcham <sup>2</sup>	CAT G5	不可 - SVT との併用	◆	不明 <sup>3</sup>		

凡例:  
 ◆ = 自主装着      ✓ = 必須装着      × = 装着不可

# SBD の基本理念

自動車セキュリティ分野、テレマティクス・ITS 分野、ならびにコスト・オブ・オーナーシップ向上活動分野において最先端の製品開発を深い知識と確かな情報で支援する。

## ...本書の著者について



デイビッド・グリーン：自動車セキュリティ スペシャリスト

カーディフ大学機会工学科卒。これまで車両防盜性と車両所有コストに関する数多くのプロジェクトに携わり、現在は自動車メーカー 1 社の専任となって英国の保険グループ格付プロセスに関する業務を担当している。また、グローバルな保険・防盜用件に冠する最新情報の調査にも従事。専門はスマートキー技術であり、同分野のレポートを多数手掛けている。

## 本書のご購入形態

※下記は税抜価格です

レポート名	日本語版	日本語版	英語版	英語版
	製本+PDF	製本のみ	製本+PDF	製本のみ
リモートイモビライザ： 利用に関する懸念と 需要動向 (SBD/SEC/2261)	¥ 250,000	¥ 200,000	¥ 215,000	¥ 165,000

## SBD ジャパン

担当：杉木 昭郎

E メール：asugiki@sbdjapan.co.jp

Tel：052 253 6201

## 関連レポート



### 今世紀の車両犯罪と電子的盗難手法による影響(SBD/SEC/2196)

本書は、世界各国における 1990 年代以降の盗難傾向をまとめたレポートです。インターネット上での情報の氾濫や、法規制の改正、世界的景気後退などの影響を分析し、自動車犯罪の実態と今後の動向について解説しています。



### 欧州における盗難車両追跡(SVT)の展望(SBD/SEC/2195)

高級車販売台数の減少および、競争力のあるテレマティクスの出現により、SVT システムの販売台数が落ち込んでいます。SBD では、2009 年から 2010 年にかけて欧州の SVT 市場では、販売台数が 20 万ユニット以下となり、2008 年の実績の 30% 以上減少すると予測しています。本書では、欧州市場において、アフターマーケットおよび OE システムへの脅威そしてチャンスとは何かを解明しています。



### 英国の盗難車両追跡システム認証に関する戦略的アドバイス(SBD/SEC/2198)

本書では、盗難車両追跡システムに関する保険認証カテゴリーについて紹介し、保険業者最新意見調査に基づいた適切な認証カテゴリー設定をご提案します。また、追跡システムに適用される Thatcham 認証基準について詳細に解説しています。



### ブラジルにおける車両盗難防止システム搭載義務化の影響(SBD/SEC/2208)

ブラジル政府は、全ての新車に盗難車両追跡システムとイモビライザの装備を義務化する法案を発表しました。当初は 2009 年の施行を目指していましたが、結局猶予措置が取られ、2009 年 8 月から 6 ヶ月間の試行期間が設けられています。実際の追跡システムの装備義務化は 2010 年 2 月からスタートする予定です。しかし、ここにきて新たに法的な問題が浮上り、導入時期の延期や法定要件の変更の可能性が出てきています。このように刻々と変化する状況に対し、SBD では新たに最新情報を盛り込んだレポートを発行しました。装備が義務付けられる OEM 追跡システムの技術要件や認定プロセスの詳細に加えて、盗難車両追跡システムの今後の市場動向や、装備義務化によって増加が期待されるテレマティクスの新たなサービス展開の可能性について分析しています。